令和３年度　入学生用　〔　国　語　科　〕シラバス

北海道北見緑陵高等学校

教科	科目	単位数	種別	年次	
国語	総合古典	3	選択科目	3年	
使用教科書	未定			担当者	

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
学習方法	(1)指導事項　古典に用いられている語句の意味、用法を理解し、内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 (2)言語活動　古典に表れた人間の生き方や考え方などについて、文章中の表現を根拠にして話し合う。
学習評価	育成を目指す資質・能力／育成を目指す資質・能力の評価内容 1 基盤的学力：文章を読み解き、対話により意見や考えを他者と交わすことができる。 2 問題発見・解決能力：問いを立て、解決に向かうことができる。 3 情報活用能力：情報を活用し、問題発見・解決や自分の考えの形成に役立てることができる。 4 主体的判断能力：物事を多面的に吟味し、主体的に判断・行動することができる。 5 協働力：他者を尊重し、協働することができる。 6 自律力：規範意識をもって自律的に行動することができる。 7 実践力：自ら考えて行動し実践することができる。 8 自己認識力：自分の思考を客観的に捉えることができる。 以上の観点をふまえ、 総合的に評価します。
担当者から	古典を学ぶということは単に教科書を読んで、文法を学んで、読解を深めることだけではありません。学習を通じて考えを深め、主体的に学ぶ姿勢をどこまでもてるようになるかが重要です。時代の変化の中で、人の生き方、考え方等において、変わるもの、変わらないものを意識するとさらに読みが深くなります。そうした姿勢で学べば、今後の人生にも学んだことが生きていきます。

月	大単元	単元(題材)	学習内容	重点評価事項(資質・能力) 1	2	3	4	5	6	7	8	単元(題材)の評価基準	評価方法
4	古文編Ⅰ	1 説話	十訓抄　大江山いくのの道	○	○		○					a. 説話、随筆、物語についての基本的な読解力が身についている。	・授業態度
4		2 随筆(一)	徒然草　家居のつきづきしく	○	○		○					b. 説話、随筆、物語について興味・関心をもち取り組んでいる。	・単元及び課題テスト
5		3 物語(一)	竹取物語　かぐや姫の昇天	○	○		○					c. 作品の内容について思考を深めることができている。	・提出物の状況
5	漢文編Ⅰ	1 故事成語	漱石沈流	○	○		○					a. 漢詩に用いられている語句の意味、用法について理解している。	・定期考査
5		2 漢詩	送友人	○	○		○					b. 漢詩を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえている。	
6	古文編Ⅰ	5 物語(二)	平家物語　能登殿最期	○	○		○					a. 説話、日記、物語についての基本的な読解力が身についている。	
6		6 日記	土佐日記　白波	○	○		○					b. 説話、随筆、物語について興味・関心をもち取り組んでいる。	
6		7 物語(三)	源氏物語　若紫	○	○		○					c. 作品の内容について思考を深めることができている。	
7	漢文編Ⅰ	4 文章	桃花源記	○	○		○					a. 漢文に用いられている語句の意味、用法について理解している。	
7		5 思想－儒家	人之性悪	○	○		○					b. 漢文を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえている。	
8	古文編Ⅱ	1 説話	今昔物語　馬盗人	○	○		○					a. 説話、随筆、物語、日記についての基本的な読解力が身についている。	
9		2 随筆	枕草子　うれしきもの	○	○		○					b. 説話、随筆、物語、日記について興味・関心をもち取り組んでいる。	
9		3 物語(一)	大鏡　肝だめし	○	○		○					c. 作品の内容について思考を深めることができている。	
9		4 日記	蜻蛉日記　町の小路の女	○	○		○						
10	漢文編Ⅱ	3 漢詩	飲酒	○	○		○					a. 漢詩に用いられている語句の意味、用法について理解している。	
10		4 文章	師説	○	○		○					b. 漢詩を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえている。	
10		5 思想	渾沌	○	○		○						
11	古文編Ⅱ	5 物語(二)	源氏物語　葵　須磨	○	○		○					a. 物語、評論、小説についての基本的な読解力が身についている。	
11		6 評論	古今和歌集仮名序　やまと歌	○	○		○					b. 物語、評論、小説について興味・関心をもち取り組んでいる。	
11			風姿花伝　因果の花	○	○		○					c. 作品の内容について思考を深めることができている。	
12			三冊子　不易と変化	○	○		○						
12			玉勝間　師の説になづまざること	○	○		○						
12		7 近世の小説・浄瑠璃	雨月物語　夢応の鯉魚	○	○		○						
1			曾根崎心中　道行	○	○		○						
1	漢文編Ⅱ	6 長恨歌と日本の文学	長恨歌	○	○		○					a. 漢詩を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえている。	